

ひろば 大代

No. 4 9 3

令和2年8月号

大田市の人口	
(R2.8.1現在)	
大田市	33,993人
内大代町	331人
男	150人
女	181人

墓参りに帰郷出来ない寂しさ



東京石見高山会 会長 市原幸文

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、例年「島根イン青山」で開催している「東京石見高山会総会・懇親会」が1年延期となりました。そして感染第二波対策としてお盆の帰省自粛が必要となり「都市とふるさとを結ぶ交流会」も中止となりました。特に東京からの帰省および東京への移動の自粛が叫ばれ、東京在住者は肩身の狭い状況が続いています。未知の脅威の襲来ゆえ、やむを得ない事態ではありませんが、なんとといっても遠方のため、「年に一度のお盆のお墓参り」が出来ないことが一番辛い出来事です。私は小さいころから父に連れられて

普段から、正法寺さんにお参りに行き度々お齊をときごちそうになっていました。正法寺さんは保育園を運営されており、先々代は「お爺ちゃん先生」先代が「園長先生」でしたから、お寺の説教は物語になっており、子供でも分かり易いお話を楽しみにしていました。

「お盆」は大切な行事として「ご先祖様へのおもてなし」と教えて貰いました。8月の13日から15日までの3日間はご先祖様がそれぞれの家に戻っておいでになるので、共に和やかに過ごす日です。家を離れた親族も一堂に会して「おもてなし」をするのです。

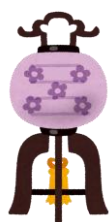
「お盆」はお釈迦様のお弟子の目蓮もくれんさんとそのお母さんの話に由来します。目蓮さんは会得したあらゆる世界を見通す力(神通力)を使い、自分を育てて下さった母親の恩に報いたいと探したところ、母親はわが子可愛さに他人をないがしろにしたために、餓鬼の世界に堕ちてやせ衰えた姿に変わっていました。お釈迦様に相談したところ「雨季の修行を終えた僧侶に飲み物や食べ物捧げれば、その功德により母親は

救われる」と教わり母親は餓鬼道から救われたのです。この教えが日本に伝わり、先祖供養の行事と融して今日の「お盆」になりました。

新型コロナウイルス感染症の世界的感染の拡大は私たちの暮らしぶりを変えてしまっています。近所の方々の語らいや物事を決めて進めて行く会議もはばかられる状況ですが、その中において、医療・介護・行政に携わる方々は決死の覚悟で奮闘しておられます。「三密を避ける」生活がしばらく続きますが、気軽に帰郷が出来て、当たり前前の日常を取り戻すために、皆様で協力して参りましょう。

「故郷の川と道」

千葉県 大場隆男
(弓久出身 七十歳)



コロナ禍で、この半年マスク生活を強いられ、気分も冴えない日々が続いております。恒例の都市交流催しも残念ながら中止となり、早く元の日常に戻ることを願うばかりです。

日照時間の少ない今年の梅雨でしたが、7月豪雨は各地に大変な被害をもたらしました。

故郷大代町を流れる川は、大家川、八反田川、右原川、飯谷川が主なものです。

昭和18年9月、大家の町も大水害に見舞われて、遠方からの学生ボランティアに手助けを受けたことを、東京石見高山会会合の席で伺ったことがあります。

その後、梅雨、台風時期の大雨で家屋、田畑、護岸等の被害はそれなりにあったことと思いますが、大規模な水害は殆ど無かったように思います。

小学校は徒歩、中学校は自転車、高校も自転車で、江の川の流れる川本町に通いました。

大代町が地図で何処にあつて、どの方角が海で、どの位離れているのかなど、子供心には関心薄く、学校に通う道順は分かっているも地図上で位置、方角を確かめるようなことはまずありませんでした。数年前に帰省した際、様変わりした車時代に一度やってみた位と思っていた歩いての通学路一周を

やってみました。行きは右原経由での八反田、大家、帰りは本郷、山田、飯谷経由で念願叶い、あちこち写真を撮りながら、川の流れを感じる3時間弱でした。

小学校の通学では、橋を3ヶ所渡り、中学では5ヶ所、また高校時では7ヶ所、偶に大雨が降ると高校時は途中の橋が流され、自転車を担いで乗れない道の山越えをやつて川本町湯谷集落經由なんてこともありました。

飯谷川は、大代町と川本町の境界を越えて奥三俣川と合流し、川らしき大幅な川となり、一方の大家川、八反田川、右原川はその先の三谷川につながり、さらに下つて川本町三俣で奥三俣川と合流することになります。その昔、三俣までは、江の川の鮎が遡上していた時代があつたことを記憶しています。

中国地方最大の江の川は、全長200km近くあり川本町も昭和20年、47年の水害は数多い被害の中でも甚大なものでした。

子供の頃、川本の祭りに歩いて行きましたが、当時、現在の大橋は無く渡し船に乗りました。初めて見た大河、

その水量と川幅は強烈に記憶に残っています。7月豪雨浸水被害が谷戸地区で発生しましたが、正にそこは前述の河川が合流して流れ着く、江の川との合流地点であり、バックウォーター現象による被害であつたかも知れません。

川での水浴び、魚釣りと子供心に遊ぶことは一番の楽しみでしたが、川下の奥三俣で見た川幅の大きさ、見知らぬ集落、人々と結構な緊張感のあるものだったことが懐かしいです。

今でこそインターネットで故郷の航空写真、地図、ストーリービューと必要、興味あることを即座に見ることの出来る時代になりましたが、故郷を離れ半世紀以上経つても、目に浮かぶのは、川の流れ、よどみ、護岸、竿のしなり、魚の重みと次々と鮮明に蘇ります。

川本町、江の川の内容が多くなりましたが、大代小学校入学の昭和31年は、入学写真のバックに、「川本町立大代小学校」と校名銘板があり、当時、大田市か川本町かの選択を決める重大局面を抱えた大代町でした。



大江高山火山が日本遺産に

認定されました

大代高山会 佐藤哲朗

日本遺産は、文化庁が認定した、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーがあり、各地域の魅力溢れる有形・無形の文化財群を、地域が主体となって整備活用し、国内外へ発信することで地域活性化を図ることを目的とした、日本の文化遺産保護制度の一つです。

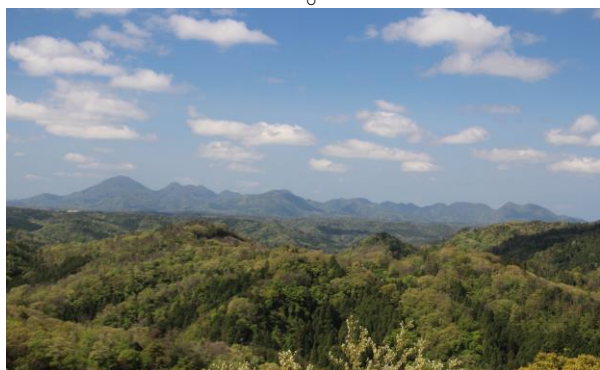
大田市では日本遺産認定を目指して、火山活動由来の地域資源についてとりまとめた「石見の火山が伝える悠久の歴史 ―“縄文の森” “銀（しろがね）の山”と出逢える旅へ―」と題したストーリー構成で、今年1月に2回目となる申請を行い、6月19日文化庁より認定されました。ストーリーは三瓶小豆原理没林と三瓶山そして大江高山（申請では大江高山火山）を中核に構成したものです。

大江高山は、三瓶山に次ぐ標高808mの連山で、三紀から四紀（二百万年前）

につくられ大江高山火山（群）と呼ばれています。噴火時期は百数十万年前といわれ、今回のストーリーの石見銀山遺跡・大森銀山地区・琴ヶ浜・松代鉦山あられいしの霞石・福光石の石切場・鬼村の鬼岩・立神岩・仁万の硅花木・波根の硅花木・静之窟しずのいわや・龍巖山りゅうがんざんなど、大江高山の火山の活動によるものといわれています。

大代町では旧公民館時代から町民の皆さんと一体となって大江高山の保全に努めて来ました。今回の認定は、これらの取組みが評価されたものと思われ、これを契機に、大田市と連携し大代町の誇る地域資源を最大限に生かし、地域活性化につなげたいと思います。

詳細は広報おだ8月号に掲載されています。
※写真は野城円城寺（三瓶）から見た大江高山（一番左）



「災害食づくり」

8月2日、高山公民館共催で、小学生親子を対象に『ポリ袋災害食づくり』を行いました！

ポリフクロでさいがいしょづくり

柿田 岡田恵助

たいへんだったのは、細かく切ることに、牛薄切りの肉をわけることでした。牛井では、米と、肉を加熱しました。そのあいだにみそ汁のじゅんびをしました。思ったよりたいへんでびっくりしました。できたら食べました。米はちよつとかたかったけど、牛井はおいしかったです。みそ汁は、わかめとみそのりょうがあいました。たいへんだったけどがんばってつくったらおいしかったです。

さいがいがあつたらつくってあげたいです。



ポリ袋災害食づくり

植松 小笠原恵真

8月2日にまちづくりセンターで災害食作りをしました。3年前にも同じことをしたけど、忘れていたので今回も作ることができてうれしかったです。最初のお話の中でポリ袋災害食作りは、水道の水が使えない場合の時にも、お風呂の水や川の水で大丈夫と聞きました。災害が起きた時でも知っておけば困らなくてすむので、今からやれるなんていい経験になるなと思いました。

調理をしていると、やっぱり何回もしてきているので野菜を切るのもスムーズにできました。米、牛丼の具、みそ汁の3つのふくろに分けて作っていると、ただ具材と調味料などを入れるだけで、ただ具材と調味料などを入れてゆでるだけで本当においしくできるのかと少し不安に思っていました。ゆで終わるまでの時間は、上手く完成した所を思いうかべたり、自分がおいしく食べる所を少し想像したりして腹をぐーぐー鳴らしながら待っていました。ついに完成した所を見ると、早く食

べたいという食欲がマックスになっていました。そして、食べてみると自分が想像していた味よりおいしくて最高でした。牛丼は、お肉が一番おいしくて、ご飯も作る時に、といていなかったのでどんな風になるのかなと思っていたら、案外変わらなくておいし、みそ汁もやさしい味でおいしくて、全体的に思っていた物より良くて少しおどろきました。

今回のポリ袋災害食作りは、学校でも調理実習ができていなかったので、夏休みのいい思い出になりました。



このコーナーは、大代町に住んでいるながら、知っていそうで意外と知らないことを、私、後藤がお尋ねさせてもらう新コーナーです。不定期で掲載させていただきます。

第1回 大代再発見! 何でも聞いてみよう!

今回は、「柚子胡椒」について改めて知りたく、当初から携わっておられる小笠原恵真さんにお尋ねしてきました。

後藤 「よろしくお願いします。早速ですが、いつ頃から作られ始めたんですか?」

小笠原 「大代小学校が閉校となった平成23年度に、子供達の最後の取り組みとして、当時連合自治会長だった佐藤哲朗さん指導のもと、作られ始めました。文化祭等での売り上げは、児童と地域の方々の最後の想い出旅行の費用に充てられましたよ。その翌年からは、大代幼稚園の運営助成金に充てるため、保護者・幼稚園の先生・そし

て地域有志の方々で、閉園までの3年間無償で作り続けました。閉園後は、地域でメンバーを募り、「大代ゆずっこくらぶ 代表横明完さん」で再スタートして、今日に至っています。」

後藤 「へえー、もう10年になるんですね。毎年どのくらい作られているのですか？」

小笠原 「その年年の赤唐辛子や本柚子の出来具合に左右されますが、大体多い年で5千個を超えた年もありました。」

後藤 「え！5千個ですか！そんなにも売れるんですね。びっくり！作られるのも大変じゃないですか？」

小笠原 「大雑把に言うくと、春の赤唐辛子植え付け作業。そして初秋に真っ赤に実った唐辛子の取入れ。そしてペースト作り。ペースト状にし、約2か月近くねかせます。この時間が熟成期間で、とても大切です。そして、本柚子の色づく晩秋からが大変です。大量に持ち込まれた本柚子の皮をピューラーで削ります。完全手作業ですが、多い日には、一人で数百個単位をさばかれるご婦人部隊は、このクラブの力

強い原動力です。その後、熟成された唐辛子と藻塩とを調整します。すべて地元産にこだわり続けています。」

後藤 「どこで買うことが出来ますか？」

小笠原 「JAグリーン・一部の産直等で売られていますが、一番多いのは、約30名いるメンバーを通して購入されるケースが多いと思います。そのメンバーを介して東京等国内はもちろん、ドイツやニューヨークまで渡ったケースを知っています。」

後藤 「ニュ・ニュ・ニューヨークですか！あのトランプタワーの！すぎる！最後に、製造に携わって、楽しみは何ですか？」

小笠原 「個人的には、町内の方々と和気あいあいとしながら、共同作業ができる、ってことでしょうかね。楽しいおしゃべり満載です。」

大代特産の「柚子胡椒」何となく食べていた私でしたが、改めて知ることも多く、実り大きなインタビューでした。これからも、いろいろな所に向いて、再発見をしていきたいと思いま

す。その際には、みなさんご協力をよろしく願います。

今年度の敬老会の中止について

大代地区社会福祉協議会 高村 清

結論からですが、『今年9月20日予定していましたが敬老会を中止させて頂きます。』7月20日の地区社協打ち合わせにて、大田市社協の職員の出席も得、大田市内の現状（他の各地区社協の敬老会実施の有無及び状況）を説明していただき、そのうえで、大地区社協の各皆様の意見を伺った結果、今年に残念ながら中止せざるを得ないとの結論に至りました。

大代町の敬老会行事が始まって以来、中止は初めてのことと思います。主賓であるご年配の皆様にかかれましては、楽しみにしておられたことと思います。新型コロナウイルス感染症の発症は、県内では松江市、出雲市、雲南市、益田市で、また隣県の広島、山口各県でもたくさんの方が発症され、この感染の脅威を日増しに感じています。



立秋は過ぎていきますが、暑い毎日、そして新型コロナウイルス感染症の予防策を行っている生活、健康への気づかいを100パーセント余儀なくしなければならぬ今日ですが、暑さだけは秋の到来を待たば凌げますので、それまで、健康維持第一に万全を期しての生活をお過ごし願います。

以上、このような情勢のなか、来年度以降の中止はなく、毎年の敬老会が続いていくことを願い、今年度の敬老会の中止についてお知らせします。

第70回町民運動会開催中止について



大代体育協会 武田 穰

皆様 毎年、お楽しみにして頂いておきます【町民運動会】ですが、世界的に蔓延しております新型コロナウイルス拡散防止措置のため、今年は中止との判断をいたしました。

来年の開催決定となることを祈念し、役員共々趣向を凝らした運動会となるように努める所存です。その節には町民の皆様のご協力をお願いいたします。

ます。

俳句

あすなる句会

椿 花田時子

若き頃飽かず見上げし天の川
帰宅後に何はともあれ冷素麺

下市 今田文字

我ひとり稗ひえ抜く仕事日課とす
コロナ禍の気になる日々や夏に入る

川上 岩田律枝

里の昼花から花へ夏の蝶
天の川頭上に重し老い重し

上市 横田美恵子

蚊に刺され眺める先に天の川
元気出るとみんな見上げる天の川

椿 柿丸寿枝

銀漢や積まれしままの文庫本
厨房に男も入りて夏館



9月行事予定

▼3日・10日・17日・24日

いずれも（木）えびすの会

▼2日（水）胃がん検診・大腸がん検診（容器配布） 9時45分～10時半

▼3日（木）計量器定期検査 15時～15時半

▼14日（月）大腸がん検診（容器回収） 11時半～12時半

▼20日（日）敬老会（中止）

▼23日（水）連合自治会

大代地区社協よりお知らせ

弓久 前島靖博様から

香典返しにかえ御厚志を頂きました。厚くお礼申しあげます。

大代婦人会よりお知らせ

福祉弁当は今年度いっぱい（3月まで）中止になりました。

編集より

今月号に掲載予定だった、えびすの会インタビューは、来月号に変更させていただきます。

